



写 真 集

目 次

写真集の発行にあたって	4
特別審査員の紹介	5
第1回受賞作品	6 ~ 27
第2回受賞作品	28 ~ 49

🌿 写真集の発行にあたって 🌿

我が国の国土の3分の2を占める森林は、地球温暖化の防止、生物多様性の保全、木材の供給、レクリエーションの場など様々な機能があり、私たちの生活や経済に貢献しています。

このような森林が所在する山村は、美しい景観、地域で育まれてきた伝統や文化、子供達が自然に触れる場など都会にはない魅力があります。

「わたしの美しの森 フォトコンテスト」は、このような我が国の森林や山村の風景・場面を撮影した写真の募集・表彰を通じて、より多くの人々に森林・山村の魅力を伝え、森林への関心が高まり、山村地域との交流が進むことを目的として、第1回目を2017年度に、第2回目を2019年度にそれぞれ開催したところです。

他方、訪日外国人旅行者（インバウンド）が近年増加しており、特に都市部以上に地方部を訪れる外国人旅行者が増えている中で、林野庁では、国有林野において、優れた自然景観を有するなど観光資源としての潜在的魅力がある93箇所を「日本美しの森 お薦め国有林」として選定し、標識類の多言語化など山村地域の観光振興に寄与するための整備を進めています。

また、森林空間を健康、観光、教育などの多様な分野で活用し、新たな森と人との関わりを創り出す「森林サービス産業」への関心が高まっており、山村地域の活性化につながる関係人口の創出・拡大が期待されています。

新型コロナウイルス感染症の拡大とともに、訪日外国人旅行者が大幅に減少し、観光業にも大きな影響が出ている状況の中ですが、これからの観光におけるキーワードは、自粛によるストレスの解放、ソーシャルディスタンスの確保、健康と安全の重視などと言われており、まさに、森林・山村は最適な場所です。

「わたしの美しの森 フォトコンテスト」写真集の発行を契機として、より多くの方が、あらためて森林や山村の魅力を感じ、取東後には、是非とも森林・山村を訪れ、体感していただけることを心から願っています。

なお、当フォトコンテストの実施に当たっては、特別審査員として厳正な審査をいただきました写真家の福田氏及び米氏をはじめとして、各団体・各企業の皆様から多大なる御支援と御協力を頂きました。この場をお借りして関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

2020年10月
「わたしの美しの森 フォトコンテスト」実行委員会

🌿 特別審査員の紹介 🌿



写真家
福田 幸広 氏

丹頂鶴に憧れ北海道の地を訪れたことがきっかけで動物写真家の道を志す。10年間北海道の野生動物を取材。その後撮影範囲を海外や水中へ広げ現在は野生動物、水中、風景の3本柱で取材を進めている。現在はフォトライブラリー、TOPOUTIMAGESを主宰。雑誌、カレンダー企画などを行っている。

■ 著書

- ・「動物たちのしあわせの瞬間」
(日経ナショナルジオグラフィック社)
 - ・「アナグマはクマではありません」(東京書店)
 - ・「それでも美しい動物たち」(ソフトバンククリエイティブ)
- など多数



写真家
米 美知子 氏

日本の素晴らしい自然と色彩美を独創的な視点で表現。中でも表情豊かな森に魅せられ北海道から西表島まで日本の森を撮り歩く。各地で講演会やスライド&トークショーを多数開催、カメラショーやTV・CMにも出演。県展や企業主催コンテスト・写真雑誌の月例など、コンテスト審査多数。

■ 著書

- ・「青い森話(しんわ)」～八甲田・奥入瀬・十和田～
(文一総合出版)
 - ・「桜(はな)もよう」(文一総合出版)
 - ・「森に流れる時間」(文一総合出版)
- など多数